



いきいき

小富士っ子



R5学校便り No19

令和6.1.10

四国中央市立  
小富士小学校



## 新年、よろしくお祈りします



年未年始は、ゆっくりと過ごすことができたでしょうか。心身ともにリフレッシュし、良い年を迎えられたのなら幸いに思います。冬休みの家庭での児童の様子はいかがだったでしょうか。児童が元気に登校してくれて、うれしい3学期のスタートになりました。冬休み中、子どもたちを見守り、規則正しい生活を送らせてくださった保護者の皆様のおかげです。ありがとうございました。

令和6年の元日に、能登半島地震が起こり、多くの人命が失われ、被害は拡大しています。今も地震活動が活発で新たな災害や二次災害も心配されています。お亡くなりになられた方のご冥福をお祈りし、被災された皆様にお見舞い申し上げます。改めて命の尊さを思い知らされる1年の始まりになりました。今、平穩に過ごしていることに感謝しながら精一杯生きていきたいと考えています。始業式では、「命を大切にしてほしい」思いを伝え、「あっという間に過ぎる3か月間だが、一日一日を大切に努力し、1年間で学んだことをきちんと身に付けて進級（進学）しよう」と話しました。子どもたちの成長を学校と家庭とで、しっかり支えましょう。

令和5年は卯（うさぎ）年でした。卯年はうさぎがぴよんぴよん跳ねる様子から「飛躍の年」となると言われています。学校では、GIGA スクール構想により、令和3年から1人1台端末が整備され、今では1人1台端末は日常的に活用されています。令和5年は、教育DX（デジタル技術を活用して、カリキュラムや学習のあり方を革新するとともに、教職員の業務や組織、プロセス、学校文化を革新し、時代に対応した教育を確立すること）の推進とともに「教わる」から「学ぶ」へと学び方も変わり、授業は子ども主体となり、教育の新時代を迎えました。令和6年は甲辰（きのえ・たつ）年、実は干支（えと）は、皆さんよくご存じの「子（ね：ねずみ）、丑（うし）、寅（とら）、卯（う：うさぎ）、辰（たつ）、巳（み：へび）、午（うま）、未（ひつじ）、申（さる）、酉（とり）、戌（いぬ）、亥（い：いのしし）」の十二支（じゅうにし）と「甲（きのえ）、乙（きのと）、丙（ひのえ）、丁（ひのと）、戊（つちのえ）己（つちのと）、庚（かのえ）、辛（かのと）、壬（みずのえ）、癸（みずのと）」の十干（じっかん）を組み合わせると60もあります。令和5年は癸卯（みずのと・う）年、令和7年は、乙巳（きのと・み）年で、12年後の辰年は、丙辰（ひのえ・たつ）年になります。十干は、単に10日ごとに循環する日を表示する数詞（記号）として古代中国で用いられたものです。十二支は、「神様が動物たちに1月1日の朝に来るよう招集をかけ、到着した順に1年交代でその年の大将になる動物の順番が決められた」とする物語が由来として有名です。しかし、辰だけが架空の動物なのはどうしてなのか不思議です。諸説あるようですが、龍は上昇の象徴として縁起の良い生き物だったから入れられたと言われています。また、甲は十干の最初なので、新しいことが始まる年ともされています。

甲辰年にあやかり、令和6年を新たな目標に挑戦し、どんどん上昇していく年にしたいと思います。小富士小学校では、ますますICT活用等を充実させ、個別最適な学習を実現することによって、学力向上を推進し、「ふるさとを愛し、ともに学び、共に生きる小富士っ子の育成」の達成に力を尽くし、ふるさととともにある、より良い学校を実現したいと思います。

